

作業路新設事業、下刈事業を実施するほか、森林総合研究所分収造林事業に取り組み始めてまいります。

天然林についても、引き続き森林資源の有効活用及び林業労働者の雇用対策として、事業収支に配慮しながら択伐事業を推進し、これに伴う所要の事業費を予算に計上いたしました。

民有林の振興については、木材需要の低迷による森林所有者の整備意欲を低下させないためにも負担軽減を図るための各種補助制度を活用した除間伐促進事業や造林事業の推進を支援するため、引き続き所要の予算を計上いたしました。

林道整備では、今年度完了となる森林管理道狩勝線の整備に取り組み、道代行事業では、北落合地区の小規模治山事業と保育・防風林造成事業、落合・幾寅・金山地区での保育事業が予定されています。

道有林事業では、東鹿越地区での鹿の沢地区奥地保安林保全対策工事及び下金山地区アキの沢外1カ所で小規模治山事業並びに下金山地区、東鹿越地区において造林及び伐採事業が予定されております。

商工業の振興

次に、商工業の振興であります。

商工業を取り巻く環境は、本町の経済を支える農林業を中心とする産業全般の低迷や過疎化・少子高齢化や消費の多様化、購買力の流出により、依然として厳しい状況が続いており、更には公共事業の減少や新築する個人住宅などの減少で、商工業全体として一段と厳しい環境にあります。

このような状況を踏まえ、商工業の経営安定と振興のため行政予算執行の際には、効率的な予算の執行に留意し、町内の消費向上等を図りながら商工業の振興に努めてまいります。また、商工会の育成強化については、商工会の財政効率をより一層求める中で、人的支援と商工業振興事業補助金による支援を継続し、町内消費向上対策についても商工会と連携を図りながら進めてまいります。

また、商工業者等の資金円滑化を図るため実施している、町融資及び利子・保証料補助事業や、創業支援のため昨年度新たに制度化した商工業振興アシスト事業補助金につき

ましても、所要の予算を計上いたしました。

鉱業振興については、鉱業振興会へ引き続き支援するとともに、輸送車両の大型化に配慮した町道の整備を進めてまいります。

観光の振興

観光振興については、引き続き富良野美瑛広域観光推進協議会に参加する自治体と共同し、国内外に対して本町の観光資源のPRに取り組み、観光客の増加と観光産業の育成に努めるとともに、町内各種観光施設の適正管理に留意してまいります。



天然林伐採委託事業の様子

観光振興を住民・商工業者の視点で取り組む体制として発足したNPO法人南富良野まちづくり観光協会については、会員の拡大と独自の活動に期待するとともに、町との歩調を合わせた協働体制により観光振興に努めてまいります。

本町の冬の風物詩となっており「ワカサギ釣り」につきましては、「ワカサギの活卵の放流を最小限実施しながら冬季湖面の安全管理を金山ダム管理所と協力して進め、継続してまいります。

雇用対策

北海道内の雇用状況については、これまでの厳しい状況に加え、非正規雇用労働者の人員削減などにより、更なる雇用悪化となっており、本町におきましては、失業者対策として、新年度当初から進められるよう、平成20年度の繰越事業であります「緑の雇用対策事業」により、失業者の方々が携わることが出来る町有林の枝打ち事業を実施してまいります。

振興公社への対応

振興公社については、平成

18年度から平成20年度までの三カ年による経営改善計画に取り組んだ結果、概ね目標としていた経営改善が達成され、本年度は更に経営体制の安定化を進め、これからの社会経済情勢の変化に対応し、「雇用の創出、地域の活性化、産業の振興」の一端を担う持続性の高い公社となつていただくため、行政としては、それぞれの課題や取り組みに対して適切に対応をしてまいります。

あんしんの南富良野

健康やかな福祉のまちづくり

次に、少子・高齢化時代を迎え、住民一人ひとりが自立しながら互いに支えあい、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、生涯を通じた健康づくりをめざす、あんしんの南富良野 健康やかな福祉のまちづくりであります。

保健事業の充実

保健事業の充実については、昨年度から健診の受け方が変わり、40歳から74歳までの方は加入している各医療保険者（健康保険、共済保険、国民健康保険等）が事業主体とな

り特定健康診査及び特定保健指導が行われることになりましたが、40歳未満の方と75歳以上の方につきましては、従来同様生活習慣病の予防として南プミンドックを継続して実施してまいります。なお、昨年度までは、6月と10月の年2回集団健診を実施してまいりましたが、更に本年度からは住民の利便性と受診率の向上を図るため、町内の診療所のご協力を得て、集団健診を受診できない方に対し、7月から翌年1月までの間に診療所で健診を受けることができるよう個別健診制度を導入し、受診後の個別保健指導や健康教室の実施などにより、より一層充実した内容で町民の健康づくりに取り組んでまいります。

後期高齢者医療事業

後期高齢者医療事業につきましては、4月より低所得者に対する保険料軽減措置が拡大されることから、道内全市町村が加入する北海道後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の徴収、各種申請、届出などの業務を行ってまいります。

介護保険事業

介護保険事業については、本年度から平成23年度までの第4期介護保険事業計画により、65歳以上の第1号被保険者の保険料を改定すべく、本定例会に改正案を提出しております。なお、介護報酬改定による保険料の上昇を抑制するために、介護従事者処遇改善臨時特例基金を設置して、保険料を軽減するための財源に充当してまいります。

医療施設の充実

医療体制については、町内4診療所の医師による献身的なご協力で地域事情に根ざした診療が、維持形成されているところでありまして、本年度においても引き続き支援してまいります。更に、歯科診療所につきましては、昭和49年に建設したものであり、老朽化が著しいことから、平成20年度の繰越事業としまして、幾寅診療所の隣接地に新築し、医療施設の充実を図ってまいります。

一次救急医療の一元化

平日夜間の一次救急医療については、富良野医師会に委



平成22年度に大乘会へ移管される一味園

託して圏域の地域医療を担っていただいておりますが、本年4月からは、患者の利便性向上と医師の負担軽減を図るため、一次救急医療の提供場所を従来の在宅当番制から富良野協会病院に一元化を行い、富良野医師会医師と富良野協会病院医師の協力体制により対応していただくことになり、救急医療啓発普及事業負担金として、所要の予算を計上いたしました。

福祉の充実

福祉の充実については、本町の地域振興や若者の定住対策などの総合的な視点から金

山地区に建設した特別養護老人ホーム「ふくしあ」は、富良野沿線初となる完全個室型の施設でありまして、社会福祉法人南富良野大乘会の経営のもと、昨年5月に開設され、50人の入居者が夕張岳を望む自然豊かな四季に包まれた穏やかな環境の中で、明るく元気に生活していただいているところでもあります。また、35人の職員の方が新たに雇用され、下金山地区と金山地区の住宅に居住されております。

高齢者福祉対策

高齢者福祉対策として、住み慣れた場所で安心して住み続けることができるよう、生きがいデイサービスや配食サービス、除雪サービスなどの介護予防事業・生活支援事業を引き続き推進してまいります。

社会福祉協議会への支援

また、施設の効率的な運営を図ることを目的に、平成22年度から指定管理者制度に移行するための準備を進めてまいります。

社会福祉協議会は、地域住民の生活課題にこころを配い、公平公正の立場で訪問介護、通所介護などの介護保険サービスをを行い、また、町から委託事業として生きがいデイサービスなどの各種在宅福祉事業を展開し、地域福祉を推進しておりますが、本年4月